



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

清水赤十字病院

広報誌

ペケレベツとは

アイヌ語で「明るく清らかな川」を意味しており、清水町の由来となっています。



ペケレベツ



院長新年挨拶
副院長就任挨拶
事務部長新年挨拶
看護部長新年挨拶
トピックス

高橋新看護副部長挨拶
三年ぶりに忘年会開催！
My hobby シリーズ アイスホッケーは面白い！！
人事消息
理念・基本方針
編集後記

撮影者：成田 圭亮
撮影場所：清水町



院長新年挨拶 伝統を守り多様性へこたえるために

病院長
藤城 貴教

私はこう見えて毎年元旦の夜に放送されるウィーンフィルハーモニー管弦楽団のニューイヤーコンサートを楽しみにしている。世界のスター指揮者が美術館のごとく壮麗なウィーン学友協会ホールでタクトを振り、超一流の楽団が新年を祝う演奏会はウィーン訛りの音楽そのものだけではなく“音楽の都”と言われるオーストリア、ウィーンの伝統、作曲家の哲学がその年の指揮者による独特の味付けで意気軒昂に表現されることこそが興味深い。ちなみに日本が誇るマエストロ小澤征爾さんも2002年にこの大役を果たしている。私は名だたる音楽家が眠るウィーン中央墓地に二度足を運び、18－19世紀に活躍した音楽家ブラームス、ベートーベン、ヨハン・シュトラウスらの厳かな墓石を眺め、得も言われぬ満足感を味わい、もちろんかのウィーン・フィルの演奏も学友協会ホールで楽しんだ。ちなみにベートーベンは今私と同じ年齢56歳でウィーンに没した。

故郷札幌の北海道厚生年金会館（札幌芸文館に改称、1971－2018年閉館）が開館して間もない頃ウィーン少年合唱団の“天使の歌声”を聞いた。まだ就学前の私に音楽はよくわからなかったが世界に色々なものがあるのだということをうすうす理解した。この合唱団は宮廷礼拝堂の少年聖歌隊として525年前の1498年に設立され、現在までに様々な変化を繰り返しながら存続してきた。その中で多様性の議論が進み外国人の加入や2004年には姉妹団体として少女合唱団も設立されている。今年のニューイヤーコンサートもウィーン少年・少女合唱団が久しぶりに登場し会場に花を添えた。同様にウィーン・フィルの楽団員も国際化多様化が進みオーストリアに出自を持たないアジア系や女性の楽団員も増えている。今回NHKの放送で解説を担当した日系のウィーン・フィル楽団員バイオリン奏者のヘーデルボルグ和樹さんは我々よりも遥かに上品な日本語でこう述べた、“長年かけて伝統は育っていく、変わっていくものなので、ずっと時間をかけて、とにかく無理のないように自然な流れで、でも時代とともに自然な流れを作っていく、難しい場合乗り越えて、また将来振り返っていいなと思う伝統を新たに築けるように頑張っていくことを心掛けている”。

“Noblesse oblige”というフランスの諺がある、原義は“貴族たるものは身分にふさわしい振る舞いをしなければならぬ”の意であるが、現在では医療人の社会的責任と道徳観にも用いられる。欧州の王室では歴史的に男子は軍務を担い、日本も1945年の終戦までそれに倣い皇族男子、貴族の多くが軍人教育を受け従軍した。博愛社の社員総会で決定し政府に建議した念願となって1886年（明治19年）6月5日に我が国はジュネーブ条約（赤十字条約）に加入したが、時の陸軍大臣大山巖（おおやまいわお）伯爵も日清日露の戦いで陸軍大将として指揮を執り、次男の大山柏（おおやまかしわ）公爵も貴族院議員ながら陸軍少佐として太平洋戦争に従軍、終戦まで根室・室蘭の北海道沿岸部で警備隊長を務めている。ちなみにこの条約締結を受けて翌1887年（明治20年）、わが社は日本赤十字社と改称し世界で19番目の赤十字社となったのである。ジュネーブ条約加入は陸軍大臣大山巖より博愛社総長熾仁（有栖川宮たるひと）親王殿下に通知され、直筆の書は今も日本赤十字社に大切に保管されている。

私の亡母は栃木県那須郡西那須野町（現在的那須塩原市）の出身であった、関東地方の北端にある一帯はかつて明治の元勳の別荘地で、今も乃木神社（陸軍大将、学習院長乃木希典を祀る）、大山巖墓所や大山別邸などが残る。さらに皇族が那須御用邸に向かう際の最寄り駅、那須塩原駅が田園の中にぽつんと建っており、駅舎内に皇室専用応接室と専用出入り口を備える。母の実家は農家で一家は向かいの洋館を別邸とする東京の大地主の小作をしていた、一番上の伯母は地主が経営する綿花工場を管理し軍用の防寒着を作り、東京青山の地主宅におも針子さんとして奉公していたようだ。当時、東京から主がやって来ると小作人と使用人は沿道で跪いて迎え、家にも招かれていたという。その地主は大山柏公爵と言う。幼少期の母も地元の子供や戦争で疎開してきた貴族の子弟らとにぎやかに過ごし、時には洋館にしつらえた図書室で柏さんの膝にのってカール・ブッセの詩を教わり、庭で柿の木登りや、奥様の武子さん（近衛文麿公爵の妹）が調理場に立つ姿などを記憶に留める。昨年暮れに母の案内で煉瓦づくりの別邸や荘厳な墓所を見て回ったが、明治の日本人の美的センスとスケールの大きさにはただ驚くのみであった。2020年と2021年の朝日新聞に“貴族院議員、公爵、大山柏陸軍少佐”の記事が載っている。そこには、軍に来るべき公金、防寒着・暖房、宿舍のいずれも不足している故、軍務を全うするため自身の邸宅を抵当に入れて銀行から借入れをし、地形図も設計図もない中で北海道の東端、根室半島沿岸に敵軍の上陸に備えたトーチカ（小型防御用陣地）群を建設したことが書かれている。根室では地元の人々と親しく付き合い、子供たちに勉強を教え、スキーの練習にも熱心に取り組んだそうである。この記事を見る限り、少佐の人となりは母の思い出と全くもって一致するばかりか、noblesse obligeの体現というべきものであろう。

根室半島のトーチカは80年近い時間を経た今、コンクリートの塊となって当時を伝えている。

「美しく咲いても散るはならひなり^{ただ}只をしま^{ただ}ずにあとをつちかへ」

室蘭の警備大隊長をしていた大山少佐が終戦の玉音放送を受けて詠んだ歌。北の地での守りの日々と、戦後への思いが見える。
（朝日新聞2020年8月5日大野正美）

伝統ある集団ウィーン・フィルのありかた、そして大山柏少佐の詠んだ歌にも表されるように、伝統はただ守るだけではなく将来を見据え育て変わっていくものなのだ。

今日、地域医療を担う当院もこれまで地元で培ってきたものを守りつつ、未来の設計図に合わせ変化しながら育てていくことが大切だと思っている。

（本稿は令和5年、院長連盟通信の原稿を改変）



副院長就任挨拶

副院長
山田 英孝

令和5年1月1日付けで清水赤十字病院副院長を拝命しました。今回の昇任については病院内外からお祝いの言葉を多く頂いたことで、地位の重要性と責務を改めて実感しているところです。

当院へは昨年4月に入職しました。生まれも育ちも福岡県ですが、関東や東北に住んでいたところもあり、博多弁はすっかり薄まってしまったようです。しかし、時々訛りを指摘されることがあり、出自の根深さを実感しています。私自身は北海道とは無縁でしたが、家内の両親が北海道出身のため、以前から勝手に親近感を持ち、いつか働ける機会があればいいなと思っていました。1年足らずですが、実際住んでみて、環境と食べ物のクオリティは予想を遙かに超えていました。嬉しい誤算です。冬の寒さは前任地の岩手県より更に厳しいですが、まだ初体験の気象環境を新鮮に感じる気持ちが上回っているようです。

専門は精神科で、大学では認知症などの老年精神医学を中心に研鑽してきました。また、それ以前は薬物依存や神経変性疾患の基礎研究を10年ほど続けていたため、私の経験と知識は脳神経系の中でもこれらの領域に偏っているかもしれません。清水へ来た理由を時々尋ねられますが、一番の理由はここが精神科空白地域であったことで、西十勝地区で標準的な精神科の医療を提供することを目標に仕事を続けてきました。赴任して1年足らずで、まだ十勝の地形さえも十分頭に入っていない状態で副院長就任を打診され戸惑いと迷いもありましたが、これからは藤城院長をサポートし、副院長としても地域医療の発展に尽力していきたいと思っています。



事務部長新年挨拶

事務部長
上野 和久

あけましておめでとうございます。

新しい年を迎えましたが、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響は今なお続いており収束しない状況ですが、職員1人1人が責任をもち、赤十字職員として使命をもち行動いただいていること大変感謝いたします。

昨年は当院でもFACTの取り組みはもとより、その他様々な取り組みが行われましたが、その1つとして病床の効率的な運用、医療連携および在院日数の適正な管理等を通じて、経営の観点からベッドコントロールを行うことが主な目的に発足した、ベッドコントロールチーム。又、地域住民が住み慣れた場所でいつまでも元気に暮らし、職員が心身ともに健康で働き続けることを目的とし、健康診断および疾病予防、健康増進の企画・立案を精力的に行う健康管理室が設置されましたが、どの取り組みも組織を横断した形で、多職種が活動に参加してシェアリーダーシップを目指しております。

1月からは山田副院長の就任、高橋看護副部長が着任され新たに強い組織体制も確立されました。

2023年新しい年が始まりました。今年もしっかり感染対策を行いながら業務を行っていきましょう。今年もどうぞ宜しくお願い致します。



看護部長新年挨拶

看護部長
大沼 まゆみ

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

2021年7月、臨床の看護部長が学会長となる初めての赤十字看護学会学術集会は、清水赤十字職員の力と道内赤十字病院の看護部長、北海道赤十字看護大学、全国赤十字看護大学の皆様のご指導ご協力ご支援を賜り、盛会に開催できましたことありがとうございました。

COVID-19感染症対策は徐々に変更、修正され日常を取り戻しつつありますが、当院が通常診療を継続できたことは、職員の徹底した感染対策のおかげと感謝しております。

陽性となった職員は隔離中にもかかわらず陽性患者のケア、お休みなどで人員が不足している部署には、部門を超えて協力しました。経験を知恵に変え柔軟に対応するなんと素晴らしい職員！病院のために家族のために地域住民のためにひいては十勝のために活躍する職員は、清水赤十字病院の理念と方針を体現していると感じました。

今年は、副院長が就任しました看護副部長を迎えました。

新たな病院と看護部の活動が始まります。看護部はもとより、病院職員の皆様の力を借りて、飛躍できる年になると確信しております。

また職員の意見を反映した管理棟の建築も始まりました。コロナ禍での医療・看護活動は、今後も続きますが、職員一人一人の活躍により乗り越えていけると信じています。

皆さまが健康で笑顔のあふれる1年でありますように！





看護副部長就任にあたって

看護副部長
高橋 久美子

この度、看護副部長として2023年1月より着任いたしました。私は平成元年に国立療養所道北病院（現、旭川医療センター）を卒業後、厚生連旭川厚生病院に入職、その後旭川赤十字病院に異動し現在に至っています。今まで救急、脳外科、消化器内科、外科、呼吸器内科、整形外科、形成外科、精神神経科等の部署経験をしてきました。学生の頃の私は非常に出来が悪く看護師はすぐにやめようと考えていましたが、多くの患者、家族と共に歩みながら、なんと30年以上たった今もまだ看護師を続けています（笑）。看護師長になってからは、スタッフのメンタルや新人の成長に悩みながらも様々な職務改善に力を注ぎました。

このたび縁あって清水の地に辿り着きましたが、幼少時に帯広、本別に住んでいた経緯もあり、懐かしさを覚えます。清水赤十字病院と前医とは赤十字の理念は同じですが、機能、役割は異なります。藤城院長、大沼看護部長からは「地域のために出来る事全てを」と全力を注いでおられ、お二人の年齢からは想像もできないような（失礼）パワーを肌で感じています。また、職員一人ひとりが広大で澄み切っている清水の空のように明るく、丁寧であり、この職場風土こそが清水に来る一番の決め手となりました。

今後も今まで通り人との絆を大切に、当院及び地域の医療発展のために精進していく所存ですので、ご指導、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。



3年ぶりに忘年会が開催されました！！

事務部
八田 綾香

2022年12月6日に忘年会が行われました。3年ぶりの開催ということで、50名ほど参加者を募り、開催されました。

私は社会人になり、まもなくしてコロナ禍になったため、大きな会場で飲食をする経験が少なく、とても新鮮な気持ちで参加をすることが出来ました。10個のグループに分かれ、感染対策を行いながら、他部署の職員と交流を深めることが出来ました。また、忘年会恒例！？新入社員の出し物がありました。

ダンスチーム・新喜劇チームの2チームに分かれ、各チーム発表をしました。ダンスチームは「女々しくて」を踊り、スペシャルゲストで放射線科の首藤さんも参加してくださりました。ご協力いただいた首藤さんありがとうございました！新喜劇チームは「吉本新喜劇」をモチーフにオリジナルストーリーで、会場に笑いを届けくれました。他にも、永年勤続を感謝する永年勤続表彰式、豪華景品のお楽しみビンゴ大会など、2時間で内容の詰まった楽しい会となりました。このような会を企画・運営していただいた親睦会委員の皆さまありがとうございました。





My hobby シリーズ アイスホッケーは面白い！！

事務部
廣田 恵吾

私は5歳からアイスホッケーを始め、今は帯広市を拠点に活動しているタダノという社会人チームでプレーをしています。2022年10月30日に開催された第90回全日本アイスホッケー選手権大会(A)の予選会へ出場し、12月15日に長野県長野市で行われた本選への出場権を獲得しました。社会人チームの私たちは普段対戦することのない大学生やプロチームと対戦することができ、とても良い経験となりました。

結果は初戦で関西大学に勝利し、準々決勝で東北フリーブレイズというプロチームと対戦しました。結果は負けてしまいベスト8位でしたが、対戦相手には高校、大学時代にお世話になった先輩方が多く在籍しており、久しぶりに再会できたことがとても有意義な時間となりました。

最後に、アイスホッケーは氷上の格闘技と言われるほど体の当たり合いが多いスポーツです。またプレースピードも速く、アイスホッケーを見たことがない人でも必ず夢中になること間違いありません。是非、アリーナまで足を運んでいただき、廣田恵吾の応援を宜しくお願い致します。

第90回 全日本アイスホッケー選手権大会

2022年
12月15日 1回戦4試合 (開場8:00)
16日 準々決勝4試合 (開場9:00)
17日 準決勝2試合 (開場10:00)
18日 決勝・3位決定戦 (開場14:00)

頂点へ！
日本アイスホッケーの
決戦は
ビッグハット!!

#29 FW 伊藤 俊之
長野市出身

#33 GK 伊藤 崇之
長野市出身

#92 FW 土屋 光翼
長野市出身

#14 FW 磯谷 泰汰
長野市出身

RED EAGLES HOKKAIDO
SENKO SUNDAY
H.C. TOCHIGI NIKKO ICEBUCKS
EAST HOKKAIDO GRANES
TOHOKU FREEBLADES
YOKOHAMA BRIS

90th
ALL JAPAN ICE HOCKEY CHAMPIONSHIP
JAPAN ICE HOCKEY FEDERATION

長野市若里多目的スポーツアリーナ
ビッグハット

お問い合わせ 信濃毎日新聞社 地域スポーツ推進部 TEL.026-236-3385 (平日9:00~17:00)
長野県アイスホッケー連盟 事務局 TEL.026-228-9209

◆主催／(公財)日本アイスホッケー連盟 ◆共催／長野市、信濃毎日新聞社 ◆主管／長野県アイスホッケー連盟
◆協賛／太陽生命保険(株)、(株)西武、プリンスホテルズワールドワイド、(株)長台エコーポレーション ほか



人事消息

【医師派遣】

福岡赤十字病院

10月 3日(月)～10月31日(月) 三瀬 晴香
11月 1日(火)～11月30日(水) 松吉 隆仁

【医学生】

旭川医科大学 10月 2名
8月 2名
9月 2名

【内科専攻医】

愛知医療センター 名古屋第二病院

7月 4日(月)～ 7月31日(日) 東島 亜記

【臨床研修医】

旭川赤十字病院

10月 3日(月)～10月28日(金) 渡辺 蘭

名古屋第二病院

10月 3日(月)～10月28日(金) 得地 春名
10月31日(月)～11月25日(金) 本多 一仁

室蘭日鋼記念病院

11月 1日(火)～11月30日(水) 岩窪 篤



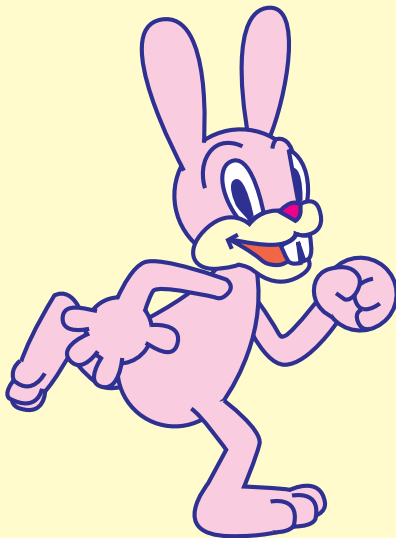
編集後記

去年から各種イベントが感染対策を行いながら開催されていますね。十勝周辺のスキー場・宿泊施設には、今年は多くのスキー・スノーボードの旅行客が来られていたようです。かくいう私はスキーをしません、ワカサギ釣りなどの冬の醍醐味に勤しんでいます。1匹も釣り上げることがで

きませんでした…。当然ですが、外に出る機会が増えれば感染症にかかる機会も増えます。そのため基本的な感染防止策はもちろん、体調不良時に病院にすみやかに受診できない場合に備えて、解熱剤などをあらかじめ早めにご購入しておくといひようです。

今年は卯年です。卯年には「飛躍」「向上」の年という意味合いもあるよう。感染症に足をとられる世知辛い世の中ですが、うさぎのような跳躍力で乗り越えてよい年にしていきましょう。次号もお楽しみに！

2階看護師 杉永 健太



❖ 編集・発行責任者：上野 和久

❖ 編集委員長：首藤 竹司

❖ 発行元：清水赤十字病院

❖ 印刷：東洋株式会社

〒089-0195 北海道上川郡清水町南2条2丁目1番地 TEL 0156-62-2513 FAX 0156-62-4460

URL <https://www.shimizu.jrc.or.jp/> MAIL contact@shimizu.jrc.or.jp